

「小児医療における動物介在活動・動物介在療法にかかわる実態調査」に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2020年8月7日～2021年3月31日
研究課題	「小児医療における動物介在活動・動物介在療法にかかわる実態調査」
研究の概要	<p>背景・目的 動物介在 (Animal Assisted Intervention, AAI) は、心理的効果、身体・生理的効果、社会的効果等が報告されている。そこで、本調査では日本の小児医療に焦点をあて、AAI 導入施設の実績・運用状況・体制整備、非導入施設における導入にあたっての課題を把握することを目的とする。</p> <p>方法 横断研究として、AAI を行っている医療機関、実施団体の担当者若干名を対象にしたリサーチインタビューを行い、全国の医療機関 377 施設を対象にアンケート調査を行う。得られたアンケート結果をもとに課題を分析・検討する。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】 豊倉 いつみ ヘルスイノベーション研究科 学生</p> <p>【研究指導者】 渡邊 亮 ヘルスイノベーション研究科 講師</p> <p>吉田 穂波 ヘルスイノベーション研究科 教授</p>
個人情報の取扱い	<p>インタビューに際して取得した録音データの逐語録を作成する際、アンケート調査に際して取得したデータを集計する際には、個人名は匿名化すると共に研究用 ID 番号を付す。なお、匿名対応表は作成しない。録音データは逐語録の作成のみに使用し、逐語録作成後は速やかに消去する。</p> <p>入力した電子データは情報セキュリティポリシーに則った特定のコンピュータ上に暗号化とパスワード保護したうえで保存し、解析に用いる。パスワードは研究代表者が責任をもって管理し、第三者に漏洩しない。</p> <p>研究期間終了後、電子データはコンピュータ及びクラウドストレージから削除して、暗号化とパスワード保護された外部記憶媒体に移し、保管する。保管期間は調査結果への問い合わせに対応するため、研究期間終了後 5 年とする。保管期間終了後には、調査票はシュレッダー処理し、電子データは外部記憶媒体から削除する。</p> <p>なおデータの利用は本研究の目的のみで利用し、「研究の実施体制」に示した研究者のみがデータへのアクセス及び利用閲覧できることとする。</p>
その他	

対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 院生 豊倉
ヘルスイノベーション研究科 教授 吉田、講師 渡邊

TEL：044-589-8100（代表）